

令和6年度
すくわくプログラム
活動報告書

とちの木保育園

どろんこ遊び

設定理由 : 園庭の土山で様々な遊びをしているので手先や全身を使って遊べるようにするため

活動のねらい : 土や泥の感触を味わい、特性や変化・感触の違いに気づき創造力を養う。心を解放させて遊ぶ。友だちと遊びあいながら社会性を育む。

対象クラス : 4歳児クラス 12名

スケジュール : 令和6年7月～令和7年3月 (計6回)

7月

土山に水を流して全身泥んこになって遊びました。

山が滑り台のようになり、滑る友だちを引っ張り上げたり。どろどろの触感を楽しんだり、心が解放された時間でした。



9月

土を使って泥団子やケーキ作り。

「水をこれくらい混ぜるといいよ」「ここの土を使うといいよ」とコツを友だちに伝えあったり、協力してトロトロの泥を作ったり…。

泥団子は壊れてしまっても、回数を重ねるごとに固くきれいなまん丸団子ができるようになっていきます。



10月

子ども達がたくさん掘って低くなった山に土を盛りました。高くなった斜面登りに挑戦！

「滑るから」と裸足になった子もいます。

大人に手をつないでもらう子もいたり、自分でバランスをとったりしながらつるつる滑る山の上下を楽しみました。



振り返り

・園庭に身近にある土山だが、子どもたちの遊びによってどんどん姿・形が変わるので、その都度遊び方も変わっていった。子ども達は遊んでいく中で土や泥の特性を知り、どうしたら固くなるか、どれくらいの水の量でとろとろになるか等発見しながら遊びが発展していった。

自然の中でどろんこになり、心を解放して遊ぶ経験をしたことで、子ども達は満足感をもっていきいきとした表情で遊びこむことができ、豊かな心身の発達が促された。